

## 事業実績書

団体名	小鯖地域づくり協議会
-----	------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

地区住民および各種団体が連携・協力して、豊かで住みよい安全な 地域づくりを進める。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	第4次地域づくり計画策定に向け、併せ負担感を抑えた協議会構成体制の見直しを目指した取り組みをスタート。		
	事業名	協議体制見直し事業	決算額	計) 0円
②	視点	若い世代の新規企画事業取り組み推進		
	事業名	若者のびのび事業	決算額	65, 281円
③	視点	安心して暮らせる地域環境づくり		
	事業名	交通安全啓発活動	決算額	計) 31, 834円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
<p>①協議会体制見直し事業 : 第4次地域づくり計画策定に向け、併せ負担感を抑えた協議会構成体制の見直しを目指し、「小鯖これからプロジェクト」を協議会メンバー以外に支援団体共に立上げスタートしました。基本のデータ確認の観点から未来人口推計の勉強会や協議会構成団体のアンケート・ヒアリングを行い、実情把握し、地域の皆に理解して貰える体制づくりを目指します。</p>	○
<p>②若者のびのび事業 : 前年度に引き続き、「さぼろっち未来カフェ」を開催し、若い世代を対象に、少しずつでも地域づくりに関心をもってもらう取組みを進めています。また若い世代を主体とした新企画提案の事業に対して、助成する取組みを行い、2件実施しました。今後も計画的に企画して、若い世代が活躍できる環境を整えて行きます。</p>	○
<p>③交通安全啓発活動 : 安心して暮らせる環境づくりにおいて、安全面で交通安全を取り上げ、各地区自治会長の協力を得てそれぞれの調査(交通危険箇所)をしました。協議会、市、警察と関係部署に依頼し、改善できるように進めることが出来ました。</p>	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

令和元年度は、特に「協議会」として全体の事業の見直しを進め、更に各委員が率先して取り組めるような体制づくりを検討に着手しました。また、「若い世代の地域づくりへの関わり」にも重点を置き、全体としては従来からの部会による事業だけではなく実行委員会形態の若い世代の活動とがうまく融合出来るような取組みも必要と考えます。

## 5 事業内容

### (1) 協議会運営

事業費	5, 150, 788円 /
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数): 事務局長 1名、事務局員 2名 計 3名</p> <p>(運営費の主な内容): 事務局人件費、事務費、通信費、各事業費の管理、広報活動 他</p> <p>(成果・評価): 年間を通じて滞りなく事務局運営を行いました。</p> <p>(今後に向けて): 第3次「小鯖地域づくり計画」(平成30～令和4年度)の見直しも含め、新体制の地域づくり協議会を模索しつつ、事業推進体制を強化して行きます。</p>

### (2) 地域振興

事業名	2-① 地域活性化応援
事業費	86, 317円
事業概要	<p>(実施内容): 「写真コンテスト」事業は部会委員活動として取り組みをします。実行委員組織活動の「そうめん流し」については助成します。</p> <p>(実施時期): 写真コンテスト(令和元年9月募集開始、11月6日審査、11月17日発表・展示) そうめん流し(夏まつり8月10日)</p> <p>(参加人数): 写真コンテスト(37点応募)、そうめん流し(会員330人)</p> <p>(成果): 写真コンテストは、小鯖地区外からも応募があり、応募数が伸びました。そうめん流しは実行委員会組織ですが地元で認知される事業に定着して来ました。</p> <p>(評価): 地域の自主的な活動を応援するもので、小鯖風景写真については定着してきている</p> <p>(今後に向けて): 令和2年度は全体的に取り組み事業を一度見直しをする。</p>

事業名	2-② コミュニティ交通運行応援事業
事業費	3, 720円
事業概要	<p>(実施内容): 前年度の調査アンケートを基に、講師に鈴木文彦氏(交通ジャーナリスト)を迎え、小鯖地域にあったコミュニティ交通を考える機会をもちます。</p> <p>(実施時期): 勉強会開催(10月29日)</p> <p>(参加人数): 約40名</p> <p>(成果): 講師からのアドバイスや地域住民の話し合いにより何かしら考える機運が出てきました。</p> <p>(評価):</p> <p>(今後に向けて): 令和2年度以降、色々な角度からでも小鯖地区内のコミュニティ交通について考えて行きます。</p>

事業名	2-③ 特産品創出
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 小鯖地域で誇れる特産品が少なく、農業従事者等と協力しながら特産品を生み出すための調査や検討を行います。</p> <p>(実施時期): 令和元年6月～12月</p> <p>(参加人数): 計7回の部会の中で話合う(部会委員10人)</p> <p>(成果): この部会の構成員の中に専門的な知識経験をもった人がいなかったため、色々アイデアが出ましたが、実際に実現できるものか分からず、まとめることが出来ませんでした。将来に向けて特産品創出する必要性は感じています。</p> <p>(評価): ー</p>

(今後に向けて): 単独の部会だけで創り出すことは無理なテーマですが、令和2年度は全体的に取り組み事業を一度見直しををする。

(3) 地域福祉

事業名	3-①生きがいづくり支援
事業費	119,167円
事業概要	<p>(実施内容): 「生きがいづくり」として、健康や生きがいをポイントにしたグラウンドゴルフ・ウォーキング、いきいきサロンの支援を取り組みます。また、高齢者生きがいセンターを活用したさばろっち交流広場活用のPRを進めます。</p> <p>(実施時期): 「さばろっち交流広場」常時オープン。健康グラウンドゴルフ(6月16日、10月20日)、健康ウォーキング(11月24日)</p> <p>(参加人数): 「さばろっち交流広場」の利用者数は約400人/年で減少傾向。「健康グラウンドゴルフ」(40人)、「健康ウォーキング」(30人)、</p> <p>(成果): グラウンドゴルフ、ウォーキングも大会でなく健康増進を目標にしたもので、参加者は楽しくプレー出来、目的を達成しました。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 継続して活動出来るよう支援していくことが大事と考えます。</p>

事業名	3-② 高齢者サポート
事業費	11,865円
事業概要	<p>(実施内容): 日常支援作業と高齢者在宅家族サポート研修を計画します。</p> <p>(実施時期): 日常支援作業 夏季1件(清掃) 冬季2件(不要物処理、草刈り)          高齢者在宅家族サポート研修 3月15日計画するが、コロナ感染予防により中止</p> <p>(参加人数): 日常支援作業・・・部会メンバー 8人</p> <p>(成果): 今後、家庭や地域での介護支援を配慮した在宅家族サポート講習会が必要と思われます。</p> <p>(評価):</p> <p>(今後に向けて): 令和元年度以降は、包括支援センターが推進する「地域包括ケアシステム」とタイアップした形で検討を進めます。</p>

事業名	3-③ ふれあい配食サービス
事業費	4,555円
事業概要	<p>(実施内容): 「ふれあい配食」弁当を効率的、衛生的に調理出来るように調理器具(皮むき器)の補充を支援します。</p> <p>(実施時期): 年間2回実施しました。(10月4日、12月6日) 3月度はコロナ感染予防で中止。</p> <p>(参加人数): 毎回 約100食を配っています。</p> <p>(成果): 見守りも兼ねた取組みであり、少ない配食回数ですが、非常に喜ばれている事業になっています。</p> <p>(評価):</p> <p>(今後に向けて): 調理や食中毒対策に対応した器具補充を継続して取り組みます。</p>

事業名	3-④ 子育てサロン支援
事業費	21,960円
事業概要	<p>(実施内容): 地区内住民の要望に応え、色々子育てについて若い親の相談相手をする「子育て支援活動」(実施主体: 子育て支援連絡協議会)を支援します。</p>

事業概要	(実施時期):定例会(年2回)、子育て多世代交流会 7月13日 (参加人数):交流会 約35人 (成果):「子育て支援」に関する意見交換が多く出て、若い親に喜ばれています。 (評価): (今後に向けて):継続して「子育て支援活動」を支援して行きます。
------	---

事業名	3-⑤ 敬老会送迎バス代助成
事業費	195,156円
事業概要	(実施内容):小鯖地区社会福祉協議会の事業である小鯖地区全体の敬老会開催にあたり、参加者の送迎用バス(3台分)の費用を助成します。 (実施時期): 令和元年9月15日 (参加人数): 155人 (成果):地区社会福祉協議会を中心に協力団体も支援し、例年の如く和やかな交流の場「敬老会」になりました。 (評価): (今後に向けて):

#### (4)安心・安全

事業名	4-① 防火防犯対策
事業費	0円
事業概要	(実施内容): 各地区自治会長に依頼し、空家の実態を調査を実施します。 (実施時期): 調査(7月10日～8月末)、まとめ(9月11日)、調査結果説明(11月8日) (参加人数): 23地区自治会長を通じて、対象1900戸を調査 (成果):空家としての確認は101戸。その内、防火防犯上対応が必要なもの 1戸。地区自治会で対応が難しいため状況に応じて山口市に連絡し、対応してもらいます。 (評価): - (今後に向けて):空家の防火防犯上の具体策に向けて、継続して検討を進めます。

事業名	4-② 子どもの見守り隊の充実推進
事業費	45,000円
事業概要	(実施内容):小鯖っ子の登下校時の安全を期し、見守り活動を年間通じて行なっていますが、冬用ジャンパーを補充します。 (実施時期):令和元年4月～令和2年3月 (参加人数): 現在見守り隊登録の会員数は 約85人です。 (成果):啓発活動を進めるために必要な、冬用ジャンパーを補充しました。 (評価):安心感が醸成されつつあり、地区住民からは感謝されています。 (今後に向けて):見守り隊員の高齢化も進み隊員数も減少してます。小鯖っ子を大事にする気持ちで、継続して取り組まれています。尚、入会・脱会手続きが曖昧な点もあり、実質的に活動支援出来る会員の名簿を整理します。

事業名	4-③ 防犯灯設置推進補助事業
事業費	36,000円
	(実施内容):新規・取替え設置 1灯に対し、2,000円の助成をします。

事業概要	(実施時期):年間 (参加人数): 取付自治会からの申請に基づき 18件補助金を交付しました。 (成果): (評価):— (今後に向けて):防犯安全観点から、今後も助成を継続します。
------	---

事業名	4-④ 交通安全運動推進(交通マナー)
事業費	31,834円
事業概要	(実施内容):多くの人が集まる「ふるさとまつり」時を利用し、特設ブースを設け、交通安全に関する内容の掲示等を実施して啓発活動に努めます。地区内において交通安全上、危険と思われる個所の調査を各地区自治会の協力で調査します。また、高齢運転者交通安全講習会を開催し、交通安全意識の向上に努めます。 (実施時期):ふるさとまつり 11月17日、高齢運転者交通安全講習会 1月29日。交通上危険な個所の調査 10月～11月調査、12月現地確認 (参加人数): ふるさとまつり 約115人、 高齢運転者交通安全講習会 47人 (成果):まつり時に親子等で参加出来るような形式で交通安全に関するクイズ等を行ったり、地域での交通危険箇所を認識してもらうようなパネルを設置し参加型の取り組みで安全意識が高まりました。交通危険箇所情報 2地区あり、警察等と立会い調査も行い、その後標識・表示の改善が実施されました。 (評価): — (今後に向けて):交通安全運動期間中は、交通危険箇所を巡回して安全意識を高めるよう努めます。

(5)環境づくり

事業名	5-① 花いっぱい運動推進
事業費	0円
事業概要	(実施内容):公共の花壇の整備をする各団体(自治会、子ども会を除く)に対し、その整備費用に対して助成しました。 (実施時期):令和元年6月～令和2年1月 (参加人数): 応募なし (成果): (評価): 助成内容の見直しについて、理解が得にくかったことと、従来から手続きが面倒くさいという率直な意見もあり、申請につながら無かったと思われます。 (今後に向けて): 環境美化事業は次年度以降も継続して実施します。広く認識してもらうために、広報紙「おさば」以外による広報活動も併せて検討します。

事業名	5-② 一斉清掃活動推進
事業費	140,000円
事業概要	(実施内容):道路・河川・広場等の清掃共同活動を実施する自治会団体に対し、その整備費用に対して助成します。(各地区、年2回まで) (実施時期):平成31年4月～令和2年2月 (参加人数): 延べ28地区 (年2回まで助成) (成果): 団体数として、前年度より増加し、環境美化が維持されている。 (評価): 小鯖地区全体として、色々な清掃活動により一年を通して整備されています。本取組みも、定着して来ています。 (今後に向けて): 環境美化事業は次年度以降も継続して実施します。前項と同様に、広く認識してもらうために、広報紙「おさば」以外による広報活動も併せて検討します。



事業名	5-③ 萩往還整備
事業費	33,933円
事業概要	<p>(実施内容): 小鯖地区内のハイキングコースになっている萩往還道周辺(重点的に山口防府市境の佐波山トンネル地区の約800m)の草刈り等の整備を行ないます。</p> <p>(実施時期): 年2回(6月、10月)</p> <p>(参加人数): 6月8日 40人、10月12日 40人</p> <p>(成果): この取り組み事業は、萩往還の環境保全の意識も高く、参加者も含め定着化してきています。</p> <p>(評価): コースを散策される方々にも喜んでいただいています。</p> <p>(今後に向けて): 小鯖の財産である萩往還の整備は、継続して行きます。</p>

事業名	5-④ 鳴滝公園の観光地化推進
事業費	14,127円
事業概要	<p>(実施内容): 本年は、鳴滝公園及び河川プール周辺、更に中原中也詩碑周辺も含めての草刈り等整備をして、鳴滝美化を進めます。</p> <p>(実施時期): 7月13日</p> <p>(参加人数): 42人 (山口県、山口市職員のボランティア協力参加も含めて)</p> <p>(成果): 鳴滝河川プールオープン前に、河川プール周辺、鳴滝公園、中原中也詩碑周辺の草刈り等整備を行い、夏休み時期は多くの親子連れの姿がありました。</p> <p>(評価): 草刈り整備は地元でも実施出来るが、観光地化については山口市と継続して協議して、環境整備管理の検討が必要です。</p> <p>(今後に向けて): 観光地化、野良猫等の問題については、山口市、地元自治会、支援者と共に解決に向けて協議して行くと共に公園、プールの整備も継続して進めます。</p>

事業名	5-⑤ 正田山の環境整備
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 正田山の貯水タンク周辺を含め、正田山整備を進めます。</p> <p>(実施時期): 今年度は実施せず</p> <p>(参加人数):</p> <p>(成果):</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): タンク壁面の状態を見ながら色直しを継続します。正田山の整備については、地域として、30年11月末に「アスレチック遊具の増設」を要望した結果、市により12月末に遊具ステッパーが設置されました。</p>

#### (6) 地域個性創出

事業名	6-① ニュースポーツの振興
事業費	9,128円
事業概要	<p>(実施内容): 子ども対象に「竹いかだを作って遊ぼう会」を企画し準備を進めます。</p> <p>(実施時期): まず7月21日に計画しましたが、雨天で中止延期。再度8月4日に予定するが気温、水温が基準以上に高く危険と判断し結果として中止しました。</p> <p>(参加人数): -</p> <p>(成果):</p>

	(評価):
	(今後に向けて):

事業名	6-② 伝統行事の継承推進事業
事業費	24,849円
事業概要	<p>(実施内容): 昨年に引き続き、子どもから大人まで楽しめる昔あそび的なイベント(地域伝統)を企画し、実施します。【手作りの凧揚げ】</p> <p>(実施時期): 令和2年1月13日</p> <p>(参加人数): 児童19人</p> <p>(成果): 保護者付き添いの形で、手作りの凧、凧揚げで、こんな経験が出来て良かったという声が多く、部会委員からも取り組んで良かったと聞いています。今年は特に凧揚げ日和で、皆の手作り凧が空を舞い、親子の歓声が響きました。昼飯(ぶた汁・おにぎり)を男性料理グループが支援。</p> <p>(評価): 取組みも結果的には、好評であったものの、短期間にバタバタと推進した面があり、もう少し計画的に時間の余裕をとりながら、事業推進する必要があります。</p> <p>(今後に向けて): 次回実施する時は、事前の計画準備を十分に考えて取り組むよう検討します。</p>

事業名	6-③ 社会教育協賛
事業費	79,744円
事業概要	<p>(実施内容): 中学校区域の健全育成への運動へ協力活動(大内小鯖地域協育ネット)します。また、夏休み期間中の鳴滝プール管理に対して助成します。</p> <p>(実施時期): 大内小鯖地域協育ネットの活動支援(令和元年11月末)、鳴滝プール管理(夏休み期間中開設)</p> <p>(参加人数): 大内小鯖地域協育ネットのリーフレット 300枚分、鳴滝プール管理ボランティア 8人</p> <p>(成果): リーフレット配布により、健全育成への運動協力実施。地元有志による夏休み期間中の鳴滝プール管理により水難事故が今年度もなく役目が果たせました。</p> <p>(評価): ー</p> <p>(今後に向けて): 大内小鯖地域協育ネット活動に対しては、今後も協力して行きます。鳴滝プールについては、自然のきれいな水の中で遊ぶことが出来るということで、小鯖地区外からも多くの親子連れに利用されていて評判になっているので継続して進めます。</p>

(7) 小鯖地域自主防災会

事業名	7-① 小鯖自主防災訓練・研修の推進事業
事業費	68,977円
事業概要	<p>(実施内容): 小鯖小学校夏休み防災体験教室(防災知識・応急食器づくり・カレー作り)を実施します。</p> <p>(実施時期): 防災研修講話 令和元年6月9日 夏休み子ども防災教室 30年8月18日。自主防災研修 31年3月8日予定するが新型コロナウイルス感染予防を考慮し中止。</p> <p>(参加人数): 防災研修講話 約50人 夏休み子ども防災教室 約70人 自主防災研修 中止</p> <p>(成果): 子どもたちの防災知識向上保護者や地域の参加者等との連携を高めることが出来ました。また、地域の防災意識具体的な訓練をグループで実践して理解が深まったと好評でした。</p> <p>(評価): 研修訓練は多くの人に参加してもらいたいが、地域での行事が年間を通して多く、時期の検討が難しいです。</p>

(今後に向けて):「災害は忘れた頃にやってくる」事からしても、研修訓練等は継続して単位地区の防災会と共に推進して行きます。

事業名	7-② 災害発生防止対策事業
事業費	566円
事業概要	<p>(実施内容):昨年度に続き、地区内の被災した箇所等を実際確認し、住民で可能な防災対策を考えるための計画を立てましたが、時期タイミングを合わせる事が出来ず実施しませんでした。</p> <p>(実施時期): 未実施</p> <p>(参加人数):一</p> <p>(成果):一</p> <p>(評価):一</p> <p>(今後に向けて):次年度は、防災研修等の計画とも合わせ、実施するよう進めます。</p>

事業名	7-③ 避難時必要資材充足
事業費	354,880円
事業概要	<p>(実施内容):自主防災及び避難に関連した資材補充を行いません。</p> <p>(実施時期):令和元年年6月～令和2年3月</p> <p>(参加人数): 一</p> <p>(成果): ガス式大容量炊飯釜、簡易組み立てベッド、非常食等を購入しました。</p> <p>(評価):一</p> <p>(今後に向けて):避難時に必要と思われる資材を主に補充していくよう進めます。</p>

(8) 特別・実行委員会

事業名	8-① 小鯖夏まつり
事業費	360,000円
事業概要	<p>(実施内容):実行委員組織で地域住民が力を合わせ、手作りのプログラムで「まつり」として毎年イベントを企画し運営実施しており、それに対し協賛する形で費用助成します。</p> <p>(実施時期): 令和元年8月10日</p> <p>(参加人数): 約800人</p> <p>(成果): 地区内外の多くの家族連れ、子どもの参加が見られ、ほのぼのとした地区の繋がりを感ずるものになりました。</p> <p>(評価): 一</p> <p>(今後に向けて):今後も久しぶりに帰省した家族とともに、子供の参加を促進するような 楽しい雰囲気の「夏まつり」になるよう助成します。</p>

事業名	8-② 小鯖ふるさとまつり
事業費	270,000円
事業概要	<p>(実施内容):各種団体の学習成果発表、展示バザー等を開催し、日頃の成果を広く、知らしめる交流の場(まつり)で、それに対し協賛する形で費用助成します。</p> <p>(実施時期):令和元年11月17日</p> <p>(参加人数):約700人</p> <p>(成果):若干心配される天候ではありましたが、参加者は多かったように思われます。ぶっくんコーナー、科学実験コーナー等も好評で子供の来場者にも喜ばれました。今年もゆるキャラ『さばろっち』登場で多くの子どもに注目を浴び、おまつりの雰囲気が盛り上がりました。</p>



	<p>(評価):今年も中学校のボランティア参加によるまつり運営をしました。また小学校の協力を得て、小学生の標語・絵の作品展示を行なうとともに、展示団体、協力団体の一年の成果発表の場にもなりました。</p> <p>(今後に向けて):学習発表団体は減少傾向にあるが、イベント内容も充実させていき、今後は幼稚園・JAとも連携して一緒に地域のまつりを盛り上げるよう助成します。</p>
--	--

事業名	8-③ 若者のびのび事業
事業費	65,281円
事業概要	<p>(実施内容):さばろっち未来カフェ/カタリバを開催し、若者世代の集い語り合いの場をもち、若い世代に少しずつ協議会に関心をもってもらう取組み。若い世代が主になって企画した事業について取り上げ、助成をします。</p> <p>(実施時期):さばろっち未来カフェ(6月23日、7月31日、9月4日) 若者のびのび事業(I期 1件、II期 1件)</p> <p>(参加人数):さばろっち未来カフェ 各回 約35人</p> <p>(成果):若者のびのび事業 2件(鳴滝公園の野良猫に対するTNR活動、0~2歳向け図書(充実)の取組み)に対し助成を行いました。少しずつでも取組みに対して助成をすれば、関心が高まっていくと考えます。</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて):継続して推進します。</p>

事業名	8-④ さばろっち活動
事業費	36,121円
事業概要	<p>(実施内容):ゆるキャラ「さばろっち」(着ぐるみ)を活用し、地域内の行事等に参加し活性化すると共に、地域外のイベントにも積極的に参加してその場を盛り上げ、小鯖のPR活動に努めます。</p> <p>(実施時期): 令和元年5月 ~ 令和2年3月</p> <p>(参加人数):さばろっち活動メンバー 6人 交代で参加</p> <p>(成果): 地域内では常連化し、小学校・幼稚園行事や地域まつりに参加。地域外からの参加依頼があったものや、テレビメディアのイベント等にも参加して「さばろっち」「小鯖」をPR活動しました。色々な情報媒体を通して広く認知してもらえるようになりました。</p> <p>(評価):さばろっち活動とメディア情報利用して広報活動も向上しています。</p> <p>(今後に向けて):日程を調整しながらのメンバー活動で大変苦勞が多いので、メンバー補充をしながら幅広く活動できるよう進めます。</p>

事業名	8-⑤ 竹馬世界選手権大会
事業費	286,201円
事業概要	<p>(実施内容):小鯖小学校では47年の歴史をもつ伝統文化「竹馬大会」を幅広く知ってもらい参加してもらい、交流が増え小鯖の文化を「竹馬世界選手権大会」という形で、多くの人の関わりで運営実現します。</p> <p>(実施時期): 令和元年9月 ~ 令和2年3月 (選手権大会実施日 2月16日) 当日は、悪天候のため中止しました。(前日中止決定)</p> <p>(参加人数):運営参加 約40名および協力団体(豊寿連合会、婦人部等) 競技参加者申込 徒競走 104組 障害物競争 67組 競技は中止としましたが、おもてなし(豚汁等)景品抽選会の案内をした所、約8割の来場がありました。</p>

	<p>(成果):開催6か月前から運営協力者を募り始め、競技内容、準備等の日程を決めつつ、計画的に推進出来る体制を話し合いを重ね整え準備を整えることが出来ました。悪天候により内容を変えたものの、皆さんに理解を得、喜んでもらった大会になりました。</p> <p>(評価): 声を掛けつつ広がりを持って多くの運営協力者が参加した体制でも、それぞれが率先して出来る役割分担を明確にして取り組むことが出来、最終的に竹馬大会も、皆が達成感を持って終了出来ました。</p> <p>(今後に向けて): 竹馬大会だけではなく、このような取り組み方を参考にして、他の事業を進める。</p>
--	--

事業名	8-⑥ 協議体制見直し事業
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容):地域づくり協議会も発足後、10年経過し各参加委員の意見を聞く中で色々な意見、負担感等の状況があり、協議会体制について見直しをすべき時期と考え、見直しの取り組みをします。【おさばこれからプロジェクト体制を立上げ】</p> <p>(実施時期):7月初旬にプロジェクト体制構想を立案し、その後まず「データ」認識についての学習会を開催したり、協議会構成団体のアンケート・ヒアリングを実施し、次へのステップに繋がる見直しを進めています。</p> <p>(参加人数):プロジェクトの構成員(協議会事務局役員、地域交流センター地域担当、協働推進課、やまぐち県民活動支援センター、山口市市民活動支援センター、山口市北東地域包括支援センター)</p> <p>(成果):第4次地域づくり計画策定も含め、協議会体制の見直しを関係者にて協力して進められる体制を整えました。</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて):次年度以降、最重要課題として取り組みます。</p>

事業名	8-⑦ 青色防犯パトロール
事業費	26,796円
事業概要	<p>(実施内容):小鯖地域内を車で見守り巡回をして、児童の防犯・安全を見守ろうと自主的に立ち上がった青色防犯パトロール隊をガソリン代支給という形態で支援します。</p> <p>(実施時期): 毎週1回巡回 令和元年8月 ~ 令和2年3月(以降も継続)</p> <p>(参加人数):活動メンバー 6人 交代で参加</p> <p>(成果):現時点は、問題確認もなく巡回パトロール出来ていています。</p> <p>(評価):</p> <p>(今後に向けて):今後も継続して支援します。</p>

その他

事業名	予備費
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容):</p> <p>(実施時期):</p> <p>(参加人数):</p> <p>(成果):</p> <p>(評価):—</p> <p>(今後に向けて):</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。